令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
外国語	オーラルコミュニケーション	1	２－Ａ

１．学習の到達目標

・ネイティブな英語を聞き、理解し、積極的にコミュニケーションを図る態度を育む。

・聞く・話す・読む・書くの「聞く」「話す」に力を入れる。

・英語でのコミュニケーションを通して文法の知識を身につける。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	Lesson1　アヤと呼んでね Lesson2　僕のサッカーのユニフォーム Lesson3　ニンジンが嫌い Lesson4　あとで連絡します	・英語で自己紹介ができる　文法：call 人　～ ・ものを指してそれが何か述べることができる 文法：疑問詞 ・好き嫌いについて話すことができる 文法：一般動詞とその否定文 ・連絡に関するやりとりをすることができる 文法：一般動詞・be 動詞
２学期	Lesson5　何を勉強しているの？ Lesson6　どれが一番いい？ Lesson7　自分で聞けるよ Lesson8　手伝ってくれない？ Lesson9　短くしなくては Lesson10　発表をやります Lesson11　電源ボタンを押したの？	・今何をしているのか話すことができる　文法：進行形 ・２つ以上のものを比べて話すことができる　文法：比較 ・何かができると伝えることができる 文法：助動詞 can(可能) ・手伝ってほしい内容を伝えることができる 文法：助動詞 can(依頼) ・するべきことについて話すことができる 文法：助動詞 must、should ・予定や意向について話すことができる 文法：未来形(will、be going to～) ・完了したことについて話すことができる 文法：現在完了【完了用法】
３学期	Lesson12　バンジーやったことある？ Lesson13　いつ建てられたの？ Lesson14　雨なら行きません Lesson15　自分で作ったバッグ	・経験したことについて話すことができる 文法：現在完了【経験用法】 ・「～される」という表現ができる 文法：受動態 ・「もし～なら・・だ」という話ができる 文法：接続詞 if ・人やものを関係節を使って説明することができる 文法：関係代名詞

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査による評価、提出物等授業態度による総合評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、自分の言葉で伝える技能を身につけようとしている。	聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、日常的な話題についての情報や考えを英語で書いたり、話して伝えようとしている。	外国語に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	Speak Up now!　スピーキングを定着させる 15 レッスン（数研出版）
副　教　材	なし